

# 中高

# 一貫教育がスタート!



春、新しい年度の始まりです。皆さんはどんな新年度を迎えていますか。ところで、皆さんは「中高一貫教育」という言葉を聞いたことがありますか。県内ではこの4月から、埴町、田島町、相馬市で、今年中学校に入学する一年生を対象に、「中高一貫教育」がスタートしました。いったいどんな取り組みなのでしょう。皆さんと一緒に見ていきたいと思います。

## 中高一貫教育とは

「中高一貫」を文字どおり理解すると「中学校と高等学校を一続きにすること」です。一続きにする方法には、次の三種類があります。

### ①「中等教育学校」

中学校と高等学校を一つの学校として6年間通して教育します。一つの学校なので、中学校段階から高等学校段階に進む時に入試がありません。

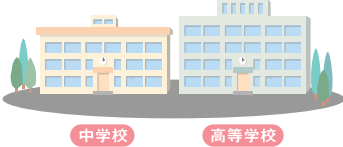
### ②「併設型」

中等教育学校よりも緩やかな形態です。これまでは、中学校は市町村立、高等学校は県立など設置者が異なっています。

### ① 中等教育学校



### ② 併設型



### ③ 連携型



ることが多いのですが、「併設型」では、同一の設置者による中学校と高等学校において、6年間通した教育を行います。

### ③「連携型」

設置者が異なる中学校と高等学校が、教育課程の編成や教員や生徒間の交流などで連携を深めます。このうち、17年度から福島

県で実施されるのは「連携型」です。

## 中高一貫教育導入の背景は?

中高一貫教育には、主に次のような効果が期待されています。

- 6年間計画的・継続的に生徒を把握することが可能となり、生徒の個性の発見や創

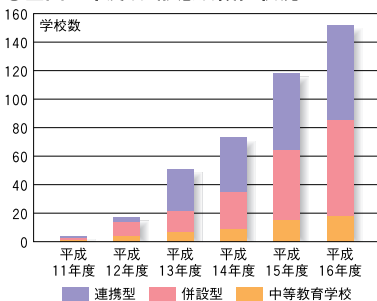
造性を伸ばすことにつながる。

- 中学二年生から高校三年生までの生徒が共に活動することで、社会性や幅広い人間性が身につく。

中学校や高等学校の期間は、生徒の能力、適性、興味、関心、進路希望などが分かれていく時期にあたります。この時期の生徒たちにとどのような教育の場を用意するかは教育上の重要な課題として捉えられ、

これまでも学科や授業内容、履修方法などの見直しが進められてきました。そうした措置に加えて「中高一貫教育」という新たな制度を導入することで、生徒や保護者がより多様な教育の機会を得られ

● 全国の年度別・形態別設置状況



るようにと、平成11年度から設置が認められたのです。以降、全国各地で中高一貫教育の導入が進んでいます。県では、平成10年度から各地で中高一貫教育実践研究事業を実施するなど導入について検討を重ね、今回の連携型の開始に至りました。